

平成26年度
医療介護総合確保促進法に基づく
石川県計画に関する事後評価

平成28年9月
石川県

3. 事業の実施状況

事業の区分	1. 地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設または設備の整備に関する事業	
事業名	地域医療ビジョン策定前の医療機関の機能分化・連携に資する事業	【総事業費(H27)】 2,900千円
事業の対象となる区域	南加賀、石川中央、能登中部、能登北部	
事業の期間	平成26年12月～平成29年3月31日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケア病床の病床数 0床 (H26.8) → 300床 (H29.4) ・かかりつけ医を持っている者の割合の増加 53.4% (H23) → 増加 (H28) 	
事業の達成状況	<p>(1) 事業の実施状況 平成27年度は、医療機能分担に関する病院管理者向けの研修会を3回、医療圏別検討会議を3回、かかりつけ医のための研修会を4回実施した。</p> <p>(2) 目標の達成状況 <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケア病床の病床数 0床 (H26.8) → 640床 (H27.10) ・かかりつけ医を持っている者の割合の増加 53.4% (H23) → H27 調査実施予定 </p>	
事業の有効性・効率性	<p>(1) 事業の有効性 本事業の実施により、石川県の全域において、地域包括ケア病棟への移行が進み始めたところである。</p> <p>(2) 事業の効率性 石川県医師会と連携することで、効率的な執行ができたと考えられる。</p>	
その他		

事業の区分	1. 地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設または設備の整備に関する事業	
事業名	「急性期病床」から「地域包括ケア病床」への転換を促すための施設・設備の整備	【総事業費(H27)】 2,308千円
事業の対象となる区域	南加賀、石川中央、能登中部、能登北部	
事業の期間	平成26年12月～平成28年3月31日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	地域包括ケア病床の病床数 0床 (H26.8) → 300床 (H29.4)	
事業の達成状況	<p>(1) 事業の実施状況 平成27年度は、3病院の施設整備等に対して補助を行った。</p> <p>(2) 目標の達成状況 補助を行った3病院については、地域包括ケア病棟への転換が進んだ(105床)</p>	
事業の有効性・効率性	<p>(1) 事業の有効性 本事業の実施により、石川県の全域において、地域包括ケア病棟への移行が進み始めたところである。</p> <p>(2) 事業の効率性 事前に希望する病院の有無をアンケートしていたこともあり、効率的に実施できたと考える。</p>	
その他		

事業の区分	2. 居宅等における医療の提供に関する事業	
事業名	医療と介護の連携促進のためのモデル事業	【総事業費(H27)】 11,800千円
事業の対象となる区域	南加賀、石川中央、能登中部、能登北部	
事業の期間	平成26年12月～平成29年3月31日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	訪問診療を受けた患者数 29,710人(H24) → 増加(H29)	
事業の達成状況	<p>(1) 事業の実施状況</p> <p>平成27年度は、在宅医療・介護に携わる多職種が必要な患者情報を常時共有できるよう、ITを活用した情報共有の仕組みを構築した。</p> <p>① 診療所の電子カルテ内の診療情報を平成25年度に構築した診療情報共有ネットワークにアップロードするためのシステム整備</p> <p>② アップロードされた診療情報を介護事業者において閲覧・活用するための体制整備</p> <p>③ 情報共有のルールを決めるための検討会の実施 など</p> <p>(2) 目標の達成状況</p> <p>訪問診療を受けた患者数 29,710人(H24) → 87,921人(H26)</p>	
事業の有効性・効率性	<p>(1) 事業の有効性</p> <p>本事業の実施により、石川県の全域において、多職種が連携した在宅医療・介護の取り組みが進み始めたところである。</p> <p>(2) 事業の効率性</p> <p>石川県医師会に委託することで、効率的な執行ができたと考えられる。</p>	
その他		

事業の区分	2. 居宅等における医療の提供に関する事業	
事業名	精神障害者の地域生活支援の検討	【総事業費(H27)】 3,000千円
事業の対象となる区域	南加賀、石川中央、能登中部、能登北部	
事業の期間	平成26年12月～平成29年3月31日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	退院患者平均在院日数(病院) 226.0日(H23) → 短縮(H29)	
事業の達成状況	<p>(1) 事業の実施状況 平成27年度は、以下のとおり事業を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ①集合研修 1回 ②実地研修 12回 ③圏域ごとの連絡会を4地域で11回実施 ④症例検討会 4病院で実施 ⑤支援体制検討会 2回 ⑥地域連携のための連携手帳を作成 <p>(2) 目標の達成状況 退院患者平均在院日数(病院) 226.0日(H23) → 366日(H26) ※長期在院患者の退院が進んだことにより、退院患者平均在院日数は伸びたもの。</p>	
事業の有効性・効率性	<p>(1) 事業の有効性 本事業の実施により、各地域の精神科病院と訪問看護等との連携体制の構築が進み、精神障害者の在宅での療養を地域で支援する体制が整い始めたところである。</p> <p>(2) 事業の効率性 日本精神科病院協会石川県支部に委託し、各保健所と連携して各圏域の状況に応じて実施したことにより、多くの関係機関の参画があり、効率的に実施できたと考える。</p>	
その他		

事業の区分	2. 居宅等における医療の提供に関する事業	
事業名	在宅歯科医療連携拠点・障害者向けの歯科診療所等の施設整備	【総事業費(H27)】 66,921 千円
事業の対象となる区域	南加賀、石川中央、能登中部、能登北部	
事業の期間	平成26年12月～平成28年3月31日 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	在宅療養支援歯科診療所数 43件(H26) → 増加(H28)	
事業の達成状況	<p>(1) 事業の実施状況 石川県歯科医師会が実施する在宅歯科医療に係る相談・助言・紹介等の拠点と、障害者のための歯科診療所の複合施設(口腔保健医療センター)の整備に対し、助成を行った。</p> <p>(2) 目標の達成状況 在宅療養支援歯科診療所数 43件(H26) → 55件(H28.8)</p>	
事業の有効性・効率性	<p>(1) 事業の有効性 本事業の実施により、在宅歯科医療の環境整備を図られた。このことが、障害者や在宅療養者等の歯科医療の充実につながると考える。</p> <p>(2) 事業の効率性 歯科衛生士養成所の建て替えと併せて実施することで、効率的な執行ができたと考える。</p>	
その他	別掲「歯科衛生士養成施設の施設整備」と併せて実施	

事業の区分	2. 居宅等における医療の提供に関する事業	
事業名	ナースセンター運営費	【総事業費(H27)】 0 千円
事業の対象となる区域	南加賀、石川中央、能登中部、能登北部	
事業の期間	平成26年4月1日～平成27年3月31日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了 ※平成27年度以降は、別掲「ナースセンターの強化」と一本化して実施	
事業の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 求職者登録数 300人台を維持 (H26) ・ 年間の就業者数 125人 (H25) → 150人 (H26) ・ 訪問看護ステーションへの就業者数 6人 (H25) → 10人 (H26) 	
事業の達成状況	<p>(1) 事業の実施状況 平成27年度以降は、別掲「ナースセンターの強化」と一本化して実施</p> <p>(2) 目標の達成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 求職者登録数 552人 (H28.3) ・ 年間の就業者数 173人 (H28.3) ・ 訪問看護ステーションへの就業者数 12人 (H28.3) 	
事業の有効性・効率性	<p>(1) 事業の有効性 ナースセンター運営会議を通し、需要者側、供給者側、関係団体、県行政が、ナースバンクの実状や課題を共有し、協力体制を構築することが出来、地域で支援する体制が整い始めた。</p> <p>(2) 事業の効率性 平成27年度以降は、別掲「ナースセンターの強化」と一本化して実施していることで、効率的に執行できていると考える。</p>	
その他	平成27年度以降は、別掲「ナースセンターの強化」と一本化して実施	

事業の区分	3. 医療従事者の確保に関する事業	
事業名	専門医養成プログラムの策定	【総事業費(H27)】 0 千円
事業の対象となる区域	南加賀、石川中央、能登中部、能登北部	
事業の期間	平成26年12月～平成30年3月31日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	能登北部4病院の常勤医師数 59人(H25) → 63人(H29)	
事業の達成状況	<p>(1) 事業の実施状況</p> <p>平成27年度は、当該基金とは別財源で、「石川県専門医認定支援事業」として県立中央病院及び金沢大学附属病院等で事業を実施している。(当該基金の活用については、今後検討。)</p>	
事業の有効性・効率性		
その他		

事業の区分	3. 医療従事者等の確保に関する事業	
事業名	女性医師支援（代診医の派遣体制整備）	【総事業費(H27)】 12,000 千円
事業の対象となる区域	南加賀、石川中央、能登中部、能登北部	
事業の期間	平成26年12月～平成30年3月31日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・医療施設に従事する女性医師の割合 17.3% (H24) → 増加(毎年度) ・能登北部4病院の常勤医師数 59人 (H25) → 63人 (H29) 	
事業の達成状況	<p>(1) 事業の実施状況 金沢大学附属病院による、女性医師を派遣している診療科（麻酔科、小児科）内での地域病院サポートチームの編成に対し、助成を行った。</p> <p>(2) 目標の達成状況 <ul style="list-style-type: none"> ・医療施設に従事する女性医師の割合 17.3% (H24) → 17.6% (H26) ・能登北部4病院の常勤医師数 59人 (H25) → 60人 (H26) </p>	
事業の有効性・効率性	<p>(1) 事業の有効性 本事業の実施により、地域の病院で女性医師が働きやすい環境を整備し、医師確保、医療提供体制の強化を図られた。</p> <p>(2) 事業の効率性 女性医師が多い診療科を補助対象としたため、地域の病院で女性医師が働きやすい環境づくりについて効率的に支援できたと考えている。</p>	
その他		

事業の区分	3. 医療従事者の確保に関する事業	
事業名	ナースセンターの強化	【総事業費(H27)】 27,100 千円
事業の対象となる区域	南加賀、石川中央、能登中部、能登北部	
事業の期間	平成26年12月～平成28年3月31日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	求職者登録数 345人(H25) → 400人(H29) (相談員を増員し、ナースセンターの広報活動を行い、看護職員及び施設に対する認知度を上げ、活用につなげる。)	
事業の達成状況	<p>(1) 事業の実施状況</p> <p>平成27年度は以下のとおり事業を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ①就業促進状況及び需要施設調査 ②離職時届出制度を活用した再就業支援 ③ハローワーク巡回相談 ④看護の心普及事業 ⑤看護学生のための就職情報交換会 ⑥訪問看護推進事業 <p>(2) 目標の達成状況</p> <p>求職者登録数 345人(H25) → 522人(H27)</p>	
事業の有効性・効率性	<p>(1) 事業の有効性</p> <p>本事業の実施により、需要者側、供給者側、関係団体、県行政が、ナースバンクの実状や課題を共有し、協力体制を構築することが出来、地域で支援する体制が整い始めた。</p> <p>(2) 事業の効率性</p> <p>ナースセンターを看護職の定着・確保の「総合拠点」として、転職(就職)や復職等の事業を一括して実施したことにより、効率的な執行ができたと考える。</p>	
その他	平成27年度以降は、「ナースセンター運営費」と一本化して実施。	

事業の区分	3. 医療従事者の確保に関する事業	
事業名	看護師等学校養成所の施設・設備整備事業	【総事業費(H27)】 15,780千円
事業の対象となる区域	南加賀、石川中央、能登中部、能登北部	
事業の期間	平成26年12月～平成29年3月31日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	看護師等学校養成所の入学定員の充足率 90% (H26) → 91% (H29)	
事業の達成状況	<p>(1) 事業の実施状況</p> <p>平成27年度は以下のとおり事業を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空調増設工事、床張替工事（金沢大学） ・壁、床等の張替工事（金沢医科大学） ・シンク改修工事（田鶴浜高等学校） <p>(2) 目標の達成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護師等学校養成所の入学定員の充足率：84% (H28.4) <p>工事の着工が年度末の養成所もあり、結果が数値としてはまだ現れていないと考える。今後の状況を継続的にみていきたい。</p>	
事業の有効性・効率性	<p>(1) 事業の有効性</p> <p>本事業の実施により、看護師等養成施設の改修工事等が行われ、学生の利便性が向上し、また、教育環境の充実が図られた。このことが、看護師確保につながると考える。</p> <p>(2) 事業の効率性</p> <p>事業開始前に各養成施設の工事の実施時期を調査することで、効率的に補助金の交付が行えたと考える。</p>	
その他		

事業の区分	3. 医療従事者の確保に関する事業	
事業名	歯科衛生士養成施設の施設整備	【総事業費(H27)】 73,039 千円
事業の対象となる区域	南加賀、石川中央、能登中部、能登北部	
事業の期間	平成26年12月～平成28年3月31日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	人口10万人あたりの就業歯科衛生士数 73.5人(全国84.8人)(H24) → 増加(H28)	
事業の達成状況	<p>(1) 事業の実施状況 施設の老朽化及び耐震性に問題のある歯科衛生士養成所の建て替えに対し、助成を行った。</p> <p>(2) 目標の達成状況 人口10万人あたりの就業歯科衛生士数 73.5人(全国84.8人)(H24) → 83.9人(全国91.5人)(H26)</p>	
事業の有効性・効率性	<p>(1) 事業の有効性 本事業の実施により、歯科衛生士養成のための環境整備が図られた。このことが、今後も歯科衛生士学科への入学者数を確保することにつながると思われる。</p> <p>(2) 事業の効率性 在宅歯科医療連携拠点、障害者向けの歯科診療所等の施設整備と併せて実施することで、効率的な執行ができたと思われる。</p>	
その他	別掲「在宅歯科医療連携拠点、障害者向けの歯科診療所等の施設整備」と併せて実施	

事業の区分	3. 医療従事者の確保に関する事業	
事業名	医療勤務環境改善支援センターの設置	【総事業費(H27)】 403 千円
事業の対象となる区域	南加賀、石川中央、能登中部、能登北部	
事業の期間	平成26年12月～平成28年3月31日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
事業の目標	人口10万人あたりの医療施設従事医師数 264.1人(H24) → 増加(H26)	
事業の達成状況	<p>(1) 事業の実施状況 平成27年度は、以下の事業を実施</p> <p>①勤務環境改善支援協議会の開催 2回 ②勤務環境改善支援セミナーの開催 2回</p> <p>(2) 目標の達成状況 人口10万人あたりの医療施設従事医師数 264.1人(H24) → 270.6人(H26)</p>	
事業の有効性・効率性	<p>(1) 事業の有効性 本事業の実施により、医師、看護師等の医療スタッフの離職防止や医療安全の確保等を図るための、各医療機関における勤務環境改善に向けた自主的な取組みが始まったところである。</p> <p>(2) 事業の効率性 支援協議会と支援セミナーの両輪を柱に事業を進めることにより、関係者の意見をセミナーの内容に反映させるなど質の向上を図り、効率的に執行することができたと考える。</p>	
その他		